

令和6年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画（1学年）

1 単位時間の時間（50）分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	オリエンテーション 11章 支え合う社会 体験活動Ⅰ（防災訓練を通じた地域理解）	<p>「人間と社会」についての基礎知識、年間の内容、進め方等について学ぶ。</p> <p>導入：自然災害での救援活動を通じて、支え合う地域社会を築くために大切なことを学習し、自分の考えや班でまとめた考えを発表する・</p> <p>課題設定：自助・共助・公助を理解し、自身ができる地域貢献は何か。</p> <p>支援：体験活動を行う上で目的や意図を指導する。</p> <p>体験活動：地域の方との防災訓練を通じて、災害時のコミュニティ形成について学習し、「自助・共助・公助」について理解する。</p> <p>情報収集：自然災害時体験や救急救命体験より命の大切さを学ぶ。</p> <p>整理・分析：収集した情報を班で協働的に整理・分析する。</p> <p>まとめ・表現：班での発表とワークシートに自身でまとめる。（品川消防署）</p>	<p>*演習について 生徒に記入させたワークシートや、指導内容への理解、授業中の取り組み等により総合的に評価する。</p> <p>*体験活動について 4回の体験活動ごとに生徒が作成する活動計画書・報告書や授業に取り組む姿勢、態度を観察し、総合的に評価する。 評価は数値ではなく文章記述で行う。</p>	<p>1</p> <p>事前学習 1</p> <p>体験活動 6 事後学習 1</p>
	5 6	10章 お金の意義について考える	<p>導入：「お金」について考えさせ、自身のライフプランに対する考えをまとめさせ、班で意見交換をする。</p> <p>課題設定：「お金」をライフプランや社会の仕組みから捉えさせ「責任」「勤勉」「公正」の道徳的価値は何か。</p> <p>支援：「お金」及び収支の管理とライフプランについて考えを事前課題にまとめさせる。また、社会保障の状況について学ばせる。</p> <p>グループワークⅠ：自身の「20年後の将来像」およびその生活をするためにはどうすればよいか、について発表し合い、気づいた点を挙げさせる。</p> <p>グループワークⅡ：「社会のためになるお金」の使い方について考え、班で意見交換する。</p> <p>グループワークⅢ：人生におけるリスクは何か。また、保険が必要な理由についてまとめさせる。</p> <p>情報収集：「健康保険」「年金」などの具体的な「お金」について学ぶ。</p>		<p>3</p> <p>3</p>

			<p>整理・分析：収集した情報を班で協働的に整理・分析する。 まとめ・表現：班での発表とワークシートに自身でまとめる。</p>		1
	7	15章 文化の多様性	<p>導入：「異なる文化」に対する考えをまとめさせる。 課題設定：豊かな国際感覚を身につけるために大切なことは何か。 支援：日本の伝統文化と異なる文化の相違点について考え事前課題にまとめさせる。 日本と外国の文化、習慣の違いを確認する 情報収集：文化・習慣の違いについてその国のことについて学ぶ。 整理・分析：収集した情報を班で協働的に整理・分析する。 まとめ・表現：班での発表とワークシートに自身でまとめる。 (品川区国際友好協会)</p>		<p>事前学習 1 体験活動 4 事後学習 1</p>
2	9	3章 働くことの意義	<p>導入：「働くこと」に対する考えをまとめさせる。 課題設定：「働くこと」の目的は収入を得る経済的なこと以外何かがあるか 支援：周囲で働いている人について「大切なもの」を考えさせまとめさせる。 グループⅠ：「働くこと」について自由な意見交換する。 グループワークⅡ：社会で生きる人がそれぞれ大切なものは何かペア、班で意見交換する。</p>		事前学習 2
	10	体験活動Ⅲ (職業体験)	<p>体験活動：多様な職業人にインタビューを行い、ペア、班で考えたこととの相違点をまとめる。 情報収集：職業を紹介する資料やネットから情報収集し職業について学ぶ。 整理・分析：収集した情報を班で協働的に整理・分析する。 まとめ・表現：班での発表とワークシートに自身でまとめる。</p>		<p>体験活動 3 事後学習 1</p>
	11	12章 地域社会を築く	<p>導入：自身の「地域社会」に対する関わりをまとめさせる。 課題設定：「地域社会」で活動する人々の活動理由は何か。 支援：自治会やNPO等の地域で活動する人々の活動内容について理解させる。 体験活動：品川警察署、町内会、商店会等と連携した地域行事への参加、防犯活動、フラワーロード活動を行う。</p>		事前学習 1
	12	体験活動Ⅳ (生徒自身の課題設定による選択的体験活動)			体験活動 2

3	1	これからの生き方の探究	体験活動：品川区内幼稚園、小学校と連携して学校行事の補助、準備・設営の支援活動等を行う。		体験活動 2
	2		情報収集：補助・支援の準備のために必要な情報の収集を参加班ごとに調べる。		事後学習 1
	3		整理・分析：収集した情報を班で協働的に整理・分析する。 まとめ・表現：班での発表と自身が得た満足度を記録させ、ワークシートに自身でまとめる。 1年間の学習を振り返って、今後の生き方と進路を考える。		1
配当時間数の合計					35

令和6年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画（2学年）

1 単位時間の時間（ 50 ）分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	1年の振り返りと2年の計画	1年で努力したことなどをまとめ、2年の計画を立てる。(個人ワーク)	記述の点検	1
		探究活動①課題設定のための刺エンテーション	大学・短大、専門、就職の概要を知る。(HRでの学習)	記述の点検	1
	5	探究活動②課題設定準備 情報リテラシー講座	自己の適性を見つめ、現時点での希望を明確にする。(HRでの学習+個人ワーク)	記述の点検	1
		SDG s 学習	身近な疑問から各自の課題を設定する。(HRでの学習+個人ワーク)	記述の点検	1
	6	SDG s 学習	設定した課題について探究活動に適しているか確認する。(個人ワーク)	記述の点検	1
		進路の手引き学習	進路の手引きを資料にした調べ学習を行う。(個人ワーク)	記述の点検	2
		探究活動③課題設定のための大テーマ締切	SDG s の視点から設定した課題について個人で探究活動に取り組む。	行動の観察 記述の点検	1
		探究活動④大テーマに応じて課題ごとのグループ分け	グループ内での自己紹介や、やりたいことの確認、絞り込み (グループワーク)	行動の観察 記述の点検	1
	7	探究活動⑤1学期の振り返りと各グループ別課題の決定	1学期に学んだことをまとめる。(個人ワーク) 探究活動のテーマを決定する。(グループワークまたは個人ワーク)	行動の観察 記述の点検	1
		探究活動⑥夏休み前のグループ指導	グループまたはごとに夏休みどのように研究を続けるか計画を立てる。(グループ/個人ワーク)	記述の点検 行動の観察	1
8	(探究活動)	グループ/個人での探究活動			
2	9	探究活動⑦ 夏休みの反省と2学期の計画	夏休みに努力したことなどをまとめ2学期の探究活動の計画を立てる。(グループ/個人ワーク)	行動の観察 記述の点検	1
		SDG s 学習	修学旅行先の自然・地理・歴史・文化について調べ学習を行う。(グループワーク)	行動の観察 記述の点検	1

		進路の手引き学習	進路の手引きを資料にした調べ学習を行う。(個人ワーク)	記述の点検	1
		探究活動⑧	テーマについての探究活動 (グループ/個人ワーク)	行動の観察 記述の点検	1
10		選択科目の研究	グループごとに3年の選択科目について調査・意見交換をして発表する。	行動の観察 記述の点検 発表の内容	3
		探究活動⑨	テーマについての探究活動 (グループ/個人ワーク)	行動の観察 記述の点検 発表の内容	1
11		探究活動⑩	テーマについての探究活動 (グループ/個人ワーク)	行動の観察 記述の点検	3
		探究活動⑪	中間発表 自分のグループの進捗状況を発表し、他の班からの質問を受ける。	行動の観察 記述の点検 発表	1
12		探究活動⑫冬休み前のグループ別指導	グループごとに冬休みどのように研究を続けるか計画を立てる。	行動の観察 記述の点検	2
3	1	進学先・就職先研究	資料を用いて希望の学校・会社を比較する。(個人ワーク)	記述の点検	2
	2	進学先・就職先研究	希望の学校・会社のPRをしあう。 (グループワーク)	行動の観察 記述の点検 発表の内容	1
		探究活動⑬	発表準備(グループ/個人ワーク)	記述の点検	1
	3	探究活動⑭クラス内最終発表	クラスでグループ/個人ごとに成果を発表と質疑応答	行動の観察 発表内容	4
		探究活動⑮クラス内最終発表	クラスでグループ/個人ごとに成果を発表と質疑応答	行動の観察 発表内容	1
配当時間の合計					35

令和6年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画（3学年）

1 単位時間の時間（50）分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	「総合的な探究の時間」オリエンテーション	1・2年の総合的な探究の時間を踏まえ、3年次の総合的な探究の時間の学びについて意義を理解する。	それぞれの活動ごとに、生徒一人一人について、学びの過程、調査方法、取り組みの姿勢、ワークシートなどを総合的に判断し、生徒の意欲を高める観点から評価を行う。	5
	5	自分の将来を考える	これからの進路に係る課題を見つける。（課題①設定）		
	6	卒業後の進路に関わる課題についての情報を集める。	設定した課題①に関わる情報を本や新聞、インターネットなどから家庭学習により収集する。（情報収集） 都度異なるグループ単位で小刻みに発表と意見交換を繰り返すを行うことを通して、情報収集・情報の分析について習熟と理解を深める。 設定した課題に関わる内容について実際現場の教員や職場の広報担当者などに対面、またはオンラインで会って質問をするなどして理解を深める計画を立てる。 情報収集した結果、設定した課題について調整を加える。（課題①ブラッシュアップ）		8
7	課題①の発表準備をすすめる。	2学期の発表に向けてまとめ、パワーポイント等を作成する。（分析とまとめ）	3		
2	9	課題①の発表をクラス内で発表する。	自分の発表とその後のオーディエンスからのやりとりを経て、自分の進路について理解を深める。（まとめと発表）		6
	10		他人の発表を聞き、自分のプレゼンテーションの方法について再考する。（情報収集と分析）		
	11	高卒後の進路に関わる課題をさらに広い視野に立って見つける。	これまでの活動を通じて学んだことをまとめ、課題について、より深い内容や情報収集を行うと		6
	12				

			<p>ともに レポートの準備をする。 (課題②設定) 都度異なるグループ単位で小刻みに発表と意見交換を繰り返し行うことを通して、情報を分析し理解を深める。</p> <p>専門分野の方から話を聞き、質問し、理解を深める (情報収集)</p> <p>レポートにまとめる。 (分析とまとめ)</p>		
3	1	卒業後の進路についてさらに深く考察し、自分と社会のつながりを考える。	2 学期末に書き始めたレポートを完成する。 (まとめ)		5
	3	実際決まった進路先からその後の社会人の自分を想像し、課題設定を行う。	決定した進路について、新たな課題設定をする。 (課題③設定)		2
配当時間の合計					35